

第2号
商工女性

あきた

秋田県商工会議所女性会連合会

女性会報

発行所

秋田市旭北錦町1-47

秋田県商工会議所女性会連合会

TEL018-863-4141

編集発行人 船木孝子



元気の素を考えるーこれからの女性会

秋田県商工会議所女性会連合会

会長 船木孝子

二十一世紀に入り早三年目、平和の時代だ、女性の時代だと希望的な新世紀のはずが世界を巻き込む勢いの戦争論の砂嵐に翻弄され、それが又世界規模の経済危機となり不安感に拍車がかかる。株価の低迷は止めようもなく国内景気も悪化する中で、政治家を始め、人々のモラルの低下で、少々の事件には不感症になってしまった日本人の姿が恠しい。

二月二十六日、全商女性連の例年の委員会、理事会に出席し、雪国を脱して元気の素を貰ってこなくてはと上京した。丸の内の都内でも随一の一等地に建つ東商会館の目前に広がるのは、皇居の堀と松の緑、温かい春の陽ざしに心が和む。この景観は日本の貴重な財産であると共に都の環境維持のためにも大切に継承してと願望する。

さて会議の方は平成十四年度から改

正された事業計画の進展状況を検討し、次年度の取り組み案などを審議するため、総務、環境福祉、広報情報、企画調査の四委員会に分かれて開催した。秋田県連会長としての私の担当は、企画調査委員会で、経済の発展に資すること“を目的としている。新設された「女性起業家大賞」の実施、要領の改善などの他、女性起業家として営業上の不利益を受ける点のアンケート調査の実施など委員長以下十三名の理事、事務局員の参加で熱心に協議を重ねた。その後六十二名の理事による理事会を開催、小泉会長は例の美しい和装に澄明な高いトーンのお声でご挨拶、また議事進行もされ、健在振りを発揮された。各委員会の経過報告の中では尾崎総務委員長からの大きな提案があった。“女性会の発展的変革の一環”として毎年開催の「全商女性連総会全

国大会大会の在り方を大幅に変更し、全国役員改選年度と合わせて三年に一度とし、三十五年継続した総会形式は青森をもって終了とする。との方針を示し、青森総会での決議をもって決定することとなる。その記念すべき青森大会は今年の十月九、十日。そして理事会メンバーを驚かせたのは、大会時の講演会講師にニューヨーク商工会議所会頭、キャサリン、ワイルド女史。大口玉となる講師を契約に取り付け意気兼行の青森県連移川会長は艶やかな笑顔で参加を勧誘した。

寺田秋田県知事は、青森、岩手、秋田の北東北三県を位置づけ連携政策に意欲的である。女性会も肖って活動の輪を広げるためにも青森県の元気の素を煎じて飲みたいと考え感う理事会であった。



▲全商女性連企画調査委員会（東商にて）

環境・ゴミ問題 小学生作文、絵画コンクール

「環境ゴミ問題」をテーマとして県教ならびに各市教育委員会の後援を得て全県の小学校を対象に実施。

応募作品数

◇絵画七十七点
◇作文十一人

審査委員長は秋田大学教授の佐々木良三氏(国画会会員)、ほか県内六女性会会長ならびに秋田福祉部会員により、厳正なる審査を行い、全国商工会議所女性会連合会会長最優秀賞ほか二十二賞を選定した。受賞者は次の通り。

【絵画の部】

◆全国商工会議所女性会連合会会長賞
《最優秀賞》

木村凌(湯沢西小五年)

《優秀賞》

丹 千春(山田小六年)
安藤桃香(城南小二年)
木藤有奈(城南小二年)
小林 琢(有浦小二年)
東海林瞳(下浜小五年)

◆商工会議所女性会会長賞

《秋田》

飯坂卓也(常盤小六年)

《大館》

本間裕樹(城南小六年)

《能代》

高砂 響(能代第五小六年)

《大曲》

伊藤早紀(内小友小六年)

《横手》

藤谷知花(旭小二年)

《湯沢》

石沢渚里(城南小四年)

◆商工会議所連合会会長賞

近藤友麻(城南小六年)

青山侑矢(城南小二年)

青柳瑞貴(城南小三年)

小林 太郎(城南小三年)

野呂あすみ(城南小五年)

矢郷真帆(城南小六年)

【作文の部】

◆全国商工会議所女性会連合会会長賞

《最優秀賞》

小笠原華子(大曲小三年)

《優秀賞》

門田菜摘(山田小六年)

金和 宗(城南小五年)
相場詩織(大曲小五年)
岩澤 尚(城南小五年)
◆秋田県商工会議所女性会連合会会長賞
菊地真央(城南小五年)



「子供の作品は本当に素晴らしい」と佐々木委員長。審査会(秋田県議所)にて

「子供は作品は本当に素晴らしい」と佐々木委員長。審査会(秋田県議所)にて

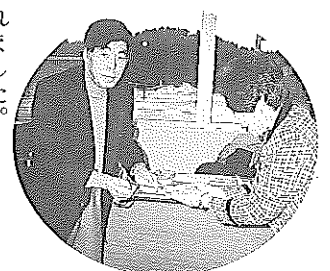


秋田だより

【年末福祉事業】

歳末助け合い運動

ご協力有難うございました。今年度も歳末助け合い運動を実施。皆さまの善意は、秋田市新藤山の特別養護老人ホーム「魁聖園」とNHKへ寄付・



寄贈されました。

《魁聖園》四万三千元

タオル、石鹸等九十五点

《NHK》一万円

全商女性連総会 福岡大会

第三十四回全国大会は、十月四日マリンメッセ福岡において、三百三十七女性会、三千三百名が集い開催された。

連合会には現在三百九十八女性会が加盟しており会員数は三万人。この度の総会では四つのスローガンが掲げられた。男女共同参画社会の早期実現、女性の起業家育成と仕事と子育ての支援、活力ある経済を目指した一層の邁進、外形標準課税の導入阻止。このスローガンのもと子育て期の働く男女のために仕事と子育ての両立支援の提言を決議した。記念講演は「日本経済

の再生と生活産業・女性経営者への期待」と題して慶應義塾大学経済学部教授、内閣府特命顧問の島田晴雄氏。その後懇親会アトラクション等で会員相互の輪を広げた。次回は青森で開催されます。皆さま多数のご参加を！。

(菅原朋子)



▲作家の夏木静子さんと夕食会にて記念撮影

東北八戸大会

東北六県女性連合会は七月十八日、八戸新幹線開通で活気づいている八戸の市民公会堂で開催され当連合会からは五十六名が参加しました。

総会では米賀の青森県知事らが「今の時代はいかにアンテナを掲げ人を呼び込むかが勝負である。待っていても何も来ない。女性の感性を十分に発揮させる環境作りが大切である。」と祝辞を述べられました。続いて青森県と八戸市の社会福祉協議会に対して寄付金の贈呈が行われました。また、事業計画案、予算案等の議事は原案通り承認されました。記念講演は加藤タキ氏が女優のヘプバーンとの交流などを例に「先入観を捨て感動することを忘れないで生きていく欲しい。心で学んだことは決して忘れないものだ。」と話され大いに共感いたしました。米賀は盛岡市で開催予定。

(原本
温子)



左からソプラノ歌手の小渡恵利子さん・榎木会長(秋田)・佐々木会長(盛岡)

経営講習会

◎六月(ビューホテル)

フリージャーナリスト

石川嘉明氏

《テーマ》
混沌の時代こそ夢を

自分の企業は自分で守る精神が必要であり、マニュアル人間は必要ない。今は世界を相手に出来るエキサイティングな時代でもあるので自ら一歩踏み出すべき。

◎十月(グランドホテル)

前さきかけスポーツ編集長

佐々木哲也氏

《テーマ》
県人気質南と北

～元気を出そう秋田県

秋田は付加価値をつけるのが得意な県。もつと先人敬称の精神を持ち、秋田の本来

の魅力をイメージし県民が向上心高揚に努めるべきである。

◎二月(グランドホテル)

小倉寛子氏

《テーマ》

一〇五才を共に生きて

～祖母小倉遊亀との日々

去る二月七日、日本画家で日本文化勲章受賞者小倉遊亀氏のお孫さんである小倉寛子氏(画伯の著作権管理法人「鉄樹」役員)の講演をいただきました。県内五会議所女性会会員五十一名が参加。一〇四歳まで慈愛溢れる絵を描き続けてこられた画伯の生き方、その才能を存分に発揮されるよう、介護に尽くしてこられた寛子氏のお話に会員一同深い感銘を受けました。

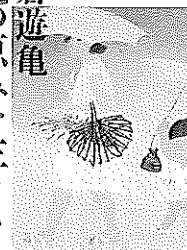
奈良女高師出身の画伯は画家としては七〇歳代が全盛期で「後を振り返らず、毎日を楽しく」を信条としておられ今話題の日野原先生が提唱された人間ドックにも逸早く参加されるような好奇心、八〇歳で歯科に一人で直接出かけるような自立心、殆ど毎日創作に向き合うような姿など老いに向かっている私たちの学ぶ

新年祝賀会



▲新年早々頭脳クイズで盛り上がりしました。知事、市長夫人を囲んでニッコリ！今年も宜しくお願いします♥

小倉遊亀
天地の恵みを生きる



所が多々ありました。寛子氏は画伯を7年間介護された経験で得た、老人には其々のリズムにあわせて焦らず同じ高さの目線で接しそして常に声をかけてあげる事の大切さなど具体的な例を上げておられ

ました。それにしても一〇四歳までも感性豊かな絵を描いてこられた画伯の画才と恵まれた環境には改めて脱帽でした。(竹谷和子)



会員を大募集

- ・地域でいろいろな活動に参加してみたい方
 - ・全県各地の講習会や視察により知識や教養を高めたい方
 - ・他県との交流親睦を図りたい方
- などなど新たな発見をしたい方！興味のある方！
まずはお気軽にご一方ください！

事務局 018-866-6677 藤田

▼県内会員が一同に会する定時総会



大館だより

樹海ドームは 世界最大級

九月二十七日、県女性連経営講習会を大館で開催いたしました。県北能代は元より、秋田、県南の横手、湯沢、大曲より沢山の方々に参加をして頂き開催されました。会場となった大館樹海ドームにはミニ物産市も併せて開催されました。講師の茂内礼子氏は大館において小学校の教諭をされ、退職後も世界各國三十六カ国を廻り見聞を広げるなど非常に行動力のあるお方でした。ちよつとしたきつかけで次の世界が開ける事、母の事、教え子の思い出、海外での経験



▶樹海ドームについて係員から説明を受ける女性会会員

飛躍する菱山製菓を見て 誘致企業を歓迎

今、最も厳しい時代の中誘致企業の菱山製菓さんが大館市に進出され、4月から操業を開始していることに伴い、女性の立場から歓迎をしたいとの会長さんの提案から、六月二十五日、二十名の参加で歓迎訪問を致しました。はじめに金澤会長が「当市への進出を歓迎し、将来における地域経済の牽引力となることへの期待をします」と歓迎の意を伝え、河村工場長へ花束を贈呈しました。これを受け河村工場長さんは「多くの女性に訪問して頂きとても嬉しい、こ



▲歓迎の意を伝え花束を渡す金澤会長(左は河村工場長)

の先長いお世話になるつもり、地域の皆さんと工場を大きくしていきたい」と力強い言葉を頂きました。その後、工場内を見学させていただき、最新の設備に皆感動して期待を新たにいたしました。

(旬宮腰建材店 宮腰わか子)

大館夏の祭典 「大文字おどり」

大館夏の祭典、八月十六日の「大文字おどり」にはここ数年毎年参加させてもらっています。又、参加することを楽しみにしています。「大文字おどり」も回数を重ねるごとに観覧される方々も多方面より数多く来て頂いているのではないのでしょうか。私も踊る者も多く集まっていただと張り合いがあると



▲日展審査員・彫刻家の松田芳雄氏を講師に迎えての新春講演会

毎年恒例の女性会新年会が開かれ、講演会終了後の懇親会余興の中で、「百聞は一見に如かずゲーム」があった。これは最初の一人がある図を見てそれを言葉だけで次の人に伝達していくゲームである。二人目、三人目、そして、十人目になると原図とは全く違う絵が描かれる。それは一見

百聞は一見に如かずゲーム 新年会で盛り上がり

いうものです。夏の暑い日の行



▲昼の部メイン行事の大文字おどりに参加(夜には鳳凰山の火文字焼きと花火大会が行われる)

事で踊る方々も進行係の方々も大変ご苦労をかけることと思います。見物に来てくださるお客様に感動を与え喜んでいただき、来年もまた見物に来るぞと思われるよう皆さんで協力し、「大文字おどり」を盛り上げていきたいと思っています。

(愛川保温工業係)

愛川幾久子



▲余興では歌や踊り、ゲームで大いに盛り上がりしました。

した時の捕らえ方、あるいは伝え方、そして受ける人のそれによって起こる現象である。いかに正確に見、聞き、表現できるか。今年こそがまさしくその試練の年になるのではないだろうか。私は思います。まず、自分の目で見て、五感を生かしつつ感性のある仕事をこれからも続けて生きたいものだ。

(旬アパフロリスト

野山節子)

横手だより

農工商フェアに 参加して

平成十四年十一月一日から七日まで、農工商フェアが横手市で開催されました。この七日間横手市には八十万余りの人々が訪れたそうです。訪れたお客様にもおてなしを市民が一致団結しました。そこで私達も何かの形で協力しようと考えた結果、横手市のアピールを兼ねて飲食販売のコーナーを設けました。「焼ソバの町横手」をキャッチフレーズに街おこしをしている私達です。会員の中には焼ソバのれん会の会員もいます。早速腕まくりをし、焼ソバ、おでん、豚汁、地産地消のカレーライス、横手の米プリン等々、又、会員有志で作った「かまくらハンカチ」。いらっしやいませの声も高らかにスタートです。皆で力を合わせ、仕入仕込み、調理、販売を作業分担し、手際の良さは？見



事なものでした。一週間の長丁場ではありませんでしたが会員のきずなが深まったことは言うまでもありません。そしてこれからの女性会に何かしら役に立ったことでしょうか。遠く県北からのお客様の中には、「うちの女性会も頑張ってるよ！」と声をかけてくれた方もおり、心強く思いました。実りの秋にふさわしく、大いに盛り上がり一週間の幕を閉じました。
(高橋恵子)

記念植樹

横手市では昭和六十三年度から行われてきた「ふるさと川モアル事業」の工事完成を記念して、蛇の崎の観音寺、鐘付堂周辺の堤防に桜の木を植樹することになりました。今回の植樹は市民からの寄付で対応することでしたので、当女性会では振興、景観づくり等環境整備に少しでもお手伝いするために賛同し、会員からの寄付金と十三年度以降の収益事業の積立金より供出し、十月十日、しだれ桜の植樹を行い、横手市より感謝状をいただきました。二〇〇三年春には、私達の植えたしだれ桜が美しく咲いてくれるのを楽しみにしています。



湯沢だより

今年度 事業懇談会

～新年祝賀会～

湯沢商工会議所女性会新年祝賀会が一月二十日、表町の介当の柳澤で開催されました。

初めに大野会長より「昨年は県女連の経営講習会、健康講座など沢山の事業内容を推進する事が出来ました。更に年度の最大事業である犬っこまつりのそ



▶ 佐藤副会長の音頭で乾杯

ばコーナーを女性会のパワーで頑張らしよう」と力強い挨拶がありました。

懇親会に入り年度事業活動や日頃の身近な話題に花を咲かせたり、ビンゴゲーム等の余興でつかの間のひとときを楽しみました。

一株だけで 花畑

大野会長が四年程前に山から採取し、庭に植えていた一株のヤマユリが八十個程の花を付けた。大雨の翌朝に茎が折れてしまったが、花瓶に移したところ息を吹き返し、満開となった。県農業試験場によると、ヤマユリの花数は一株から十個以上が普通で、八十個以上は珍しいという。



湯沢だより

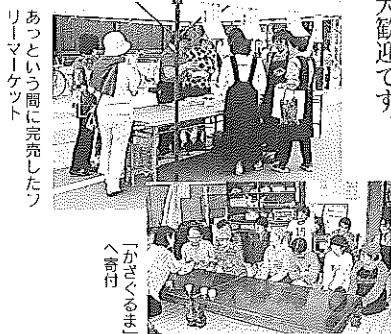
チャリティフリーマーケット
「収入金の一部を寄付」

六月一五日、第六回「たんせ市」が大町商店街で開催され、私達女性会でもチャリティフリーマーケットを出店。

一人三点以上持込みの様々な品々が並べられると、待ちかねた様に品物を選ぶ手が伸び、九一品がいつもの様にみごとに午前中で完売。

後日、収益金の一部を「かざぐるま」に寄付。とても喜ばれました。施設の中では子供達に先生を囲んで色々な作業を楽しそうにやっています。役に立てて良かったという実感です。

会員以外の方でも、眠っている品々、役に立ててほしい物がありましたら、商工会女性会へ。大歓迎です。



あつという間に完売したフリーマーケット

「かざぐるま」へ寄付

犬っこまつり

「そばコーナー」を実施 二千食完売！

今年は、好天に恵まれ、そばの売れ行きが上々でした。そばを茹でながら、あの人達は財布に手をかけているから、食べてくれるなど注文するかしらといううちに、お湯にそばを入れ、注文してくれた時にはもう出来上がり！とにかく毎年のそばコーナーに楽しく参加しています。



▲大好評だった「そばコーナー」

救急救命講習会

訓練の積み重ねが大切！

当、研修交流委員会事業として、九月三十日に四回日の救命講習会を受講しました。

消防署のご協力により、口中の仕事が終わった午後六時より九時まで救急救命士の指導を受けました。状況の例を挙げテキストに基づき、救命に必要な応急手当の基礎や、対処に当たった結果等の講話を聞いた後、実技に入り真剣に取り組みました。



▲緊急時に備えて真剣に訓練

皆んなぞうきん一度

《あの頃に戻りたい》

研修交流委員会の健康講座では、健康運動指導士の三浦敬樹先生を講師に迎え、自分にあつた運動量と年齢とそれに見合った動きを心掛けるよう説明があり、実技練習に入りました。

毎日の動きはきまつた事しか出来ず、こう云う動きもあるんだ、と一人感心しながらストレッチしてました。その時は体が軽く、夜の一杯もかるく

四回日とはいえ、忘れていた部分がありました。受講者の中に、実際に姑が倒れ一十九番への連絡までの手順が手際よく出来、家族に指示する等、自分自身も驚いた程

だったそうでした。会員以外の参加をみると、講習会の成果が有ったことを嬉しく思いました。

てくれるお客様もいました。米年は、皆様も私達のそばコーナーへ来てたんせ。

毎日やろうと思つてました。一日休めば怠け癖が出て、明日やろう、の毎日です。ホルモンのバランスも崩れ、くびれがなくてポコポコです。

又、やりましようよ！ストレッチ体操。

春が来ます、スマー

トに：



▶自分の体力レベルを把握することが大事

わらび座公演を観て

―芋のこ汁会―

研修交流委員会では、会員の親睦を深めるため芋のこ汁会を行っております。

十月二十一日、わらび座でジエームス三木作の「つばめ」を観劇しました。徳川時代を題材にしたもので、朝鮮人女性と日本人男性の恋、それにかかわる両国の狭間で悩む女性そして哀しい結末を迎えるのですが、ちょうど拉致問題が世間を騒がせていた時でもあり現代とも重なり合うような気がして皆感涙の一時でした。

都市六部会交流会に参加して

湯沢雄勝六市町村の会議所商工会の女性会交流会が十月二十四日に羽後町で行われました。

輪番制の開催で、今回は五輪坂スポーツガーデンでのグラウンドゴルフに各会より多数の参加がありました。初めて挑戦する人もおり皆真心にかえて楽しんでプレーしました。その後の懇親会も成績発表や西馬音内盆踊りなどの余興で盛り上がり楽しい時を過ごしました。



▶羽後町「としとらんど」で記念撮影

その後の懇親会では、地ビールで乾杯し普段の慌しさを離れゆっくり寛ぎ楽しく過ごしました。

今、世界は核兵器で揺れています。一日も早く平和な日が来る事を祈っています。



▶田沢湖「わらび劇場」で記念撮影

大曲だより

研修旅行に
参加して

昨年の研修先は北海道登別と洞爺湖と決まった時嬉しかった。災害で頑張っている人達に会える。そしてさきやかではあるが買物をして協力できれば、又二十数年前病気で世話になった病院を見たいと思い十月十日と十一日の研修旅行に参加しました。いざ北海道の大地に立ち美味しい空気をいっぱい体中につめ、バスで目的地の登別へ出発。地獄谷も見、ロープウェイに乗り頂上からの大自然を満喫し色々な動物さん達と出会い昭和南山へ。大災害をもたらした有珠山は白い煙を吐くだけで穏やかでした。病院はなく今は公園になっていました。今日のお宿は洞爺パークホテル。天祥湖水での花火を見ながら食事に満足満足。お風呂の大きいのもびつくり、世界一だそうです。



色々な企画と努力で少しずつ賑わいが戻ってきている観光地の皆様を目の前にして勉強させられました。笑顔と笑いやりと努力かな。次の日は船で湖水巡りから始まり素晴らしい大自然に触れ蝦夷富士羊蹄山を遠くから見ながら車中では現地の食べ物をいただき、お喋りをしながら帰路へと向かいました。お天気にも恵まれ会員の皆様との密なる親睦もあり明るく頑張っている多くの人達にもお会い出来て感動と感謝の研修旅行でした。今年はどこかなう楽しみます。

(榎田玉江)

秋まつり



大曲市秋まつりも十九回目を迎え、十月二十六日、二十七日の二日間、大曲小学校第一体育館を主会場に行われました。初日は秋晴れの下、曲小玄関前にて開会式が行われ、テープカットと花火でスタートしました。主会場では「いきいき農業展」として、三年ぶりの農産物品評会(優秀賞有り)、即売コーナー、J A女性部による地場産食材を使ったうまいもの食堂も開催され大変好評でした。そのほか、市内商店の出店、福祉、健康コーナー、ダリア展、大曲の自然コーナー等工夫を凝らした催し物が行われ、駐車場での「農産物フェア」その他各

経営講習会

施設でも様々なイベントが盛り沢山。二日目は生憎の雨でしたが延べ八万人の方々が訪れてくれました。女性会も会議所の方々の協力のもと出店しました。お昼時、「すし」「ラムネ」は売れ筋で完売。会員とのコミュニケーションもさらに増した様でした。大変ご苦労様でした。(品川綾子)

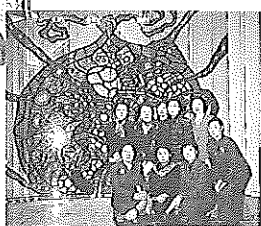
遠くは大館、秋田、湯沢の皆さまの参加を得、緑豊かな「山の手ホテル」を会場に、県商工会議所女性会連合会の経営講習会が去る十一月五日初めて大曲で開催されました。

講師は仙北町教育長の中村秀男氏で「より充実した生き方を求めて」というテーマでした。最初に四季の移ろいの見事な環境への感謝から始まり、子育てには昔言葉が一杯必要で、小さい時から命の尊さと存在感の大切さを教え込み、自立心を持たせ、謙虚さと共に全てを大きく受け止める器に育てたいなど豊富な教職体験と持前の明朗さで時にはユーモアを交えてのお話でした。更にアカペラ

の歌の披露も素晴らしく、さすが多くの表彰歴に輝く立派な教育者と感動させられました。後半は、花火工場と農業科学館の施設見学、最後の森の中のフォレスト見学も印象的で、暮れなずむ晩秋の陽射しがまばゆい程に紅葉に映えて、一幅の絵画に接した時の様なほのぼのとした安らぎに浸りつつ有意義な日程を終了する事が出来ました。

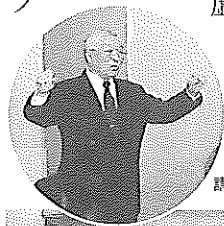
(有明京子)

花火工場見学
：(株)小松煙火工業



山の手ホテル
「クリスタルサーカス・フォレスト」

講師：中村秀男氏



施設見学：秋田県立農業科学館

能代だより

会長あいさつ

(相澤朝子)

十四年五月に会長の任を拝命致しましてから早くも一年が過ぎようとしております。

この一年を振り返りますと例年の行事となりました能代みなとまつりでのバザーは七月二十日スコールのような雨の中にもメンバーのたくましい販売活動によりまして相当地な収益をあげることができました。

十一月十九日の能代商工会議所女性会創立三十周年記念

創立三十周年記念式典

晩秋、十一月十九日能代市長はじめ来賓の方々をお迎えし、プラザ都にて、晴れやかに式典と祝賀会が開催されました。「命の贈り物」(腎移植体験談)。(株)村越時計店、専務取締役村越正道氏(三十九才)の記念講演が行われました。(日本移植者協議会の秋田県代表理事、秋田移植の会会長、能代商店青年クラブ会長etc)

事業は、苦しい予算ではございましたが会員の積極的な活動により盛会のうち無事終える事ができました。式典の前

の記念講演者の村越氏には腎移植体験談を通しての命の大切さと幸福の基準を講演頂きまして、改めて健康で仕事が出来ることの有難さを教えられた思いでございます。

今年になりました一月の新年会は会員のおめでたい晴れ着姿での参加により華やかな幕開けとなりました。余興としてご来賓の方達も交えましての有志によるラインダンスでは気合で不況を飛ばしてしまいましようとはばかりの勢いでかけ声も勇ましく今年も能



来賓の方々も、女性会会員達も、涙しながら聴き入った七十

代女性会は年初めから大いに盛り上がりつつあります。



ひどい雨。女性のパワーで、バザーは大繁盛。

分でした。「生かされている命」であること、そして自分が今何をすべきか、大事なことは何なのか、感動の講演でした。

前会長(袴田美津子、佐藤久栄、山本亮子)の三名の方に感謝状が贈られ、式典から祝賀会へと進行。声楽家の佐藤ゆうこ氏による朗々たる祝歌にはじまり、佐藤久栄会員もメンバーであるべらぼう太鼓が景気づけ、三十年の歴史がスライドで写されるとワーッと歓声！(前々々会長さん若い！)(ええ、？年前ですから)と盛り上がりカラオケ、ダンスと楽しい記念の会になりました。三十年間先輩の方々本当に有難うございました。(綿貫一子)

八幡平への旅

昨年六月七日に十二名参加



▲温泉に入って、おなごぶりあがついたみたい。

し、マイクロバスで八幡平へ行ってきた。この日は朝から好天気に恵まれ、旅行には最高の日となった。十和田ICから松尾八幡平ICまで高速にのり、車窓からの景色をみながら世間話に心弾ませた。まずは八幡平ロイヤルホテルへ向かい最上階のレストランで昼食をとりながら一休み。平日ということもありレストランは貸切状態で素晴らしい景色を眺めながらゆっくり過ごした。そこから八幡平樹海ライン、八幡平アスピーテラインを通り、途中所々に残雪もあり遅い春を感じながら話題の「新玉川温泉」へと車を走らせた。到着してみるとさすがに名の知れた温泉だけに人の多さに驚き、早々に温泉へつかり日頃の疲れを取った。

もつとのんびりした

い気持ちを押さえながら、そこから別荘エリアにある「キャブテン翼」で有名な漫画家の経営するペンションでコーヒータイム。静かで落ち着いた雰囲気があり、日頃の慌しさから開放された気分浸ってきた。

総手紙教室に参加して

(佐藤久栄)

二月十三日、能代商工会館で以前から楽しみにしていた総手紙教室が開かれました。講師は、郵便局などの教室で指導されている菊地孝恵先生です。大変わかりやすい説明に耳を傾けながら、参加者十二名は筆の準備運動からスタートしました。小筆を立ててつまむように持ち、青墨をつけて縦線、横線、渦巻をゆつくりと(二cmを五秒の速度で)描こうとするのですが、どうしても速くなってしまい何度も「速すぎますね」と注意されてしまいました。画仙紙はがきに果物、コーヒークップなどをよく見て大きく描きます。ゆつくりと描くところどころに滲みが出て何とも言えない趣になります。色づけは顔彩、塗るのではなく置く気持ちで素早く塗り、塗り残しの白い部分を生かして立体感を出します。



何を描こうかしら。いちごにしようかな。レモンにしようかな。